

I. 2017 年度総会および春季研究発表会のご案内

1. 2017 年度総会および春季研究発表会のご案内

日本マス・コミュニケーション学会 2017 年度総会および春季研究発表会を別記の通り開催いたしますので、ご参集のほどお願い申し上げます。

2017 年 4 月 24 日

日本マス・コミュニケーション学会会長	大石裕
同 企画委員長	山田健太
同 企画副委員長	松浦さと子

2. 2017 年度総会および春季研究発表会プログラム

期 日：2017 年 6 月 17 日（土）～6 月 18 日（日）

会 場：新潟大学五十嵐キャンパス（〒950-2181 新潟市西区五十嵐 2 の町 8050）

総合教育研究棟 B 棟：個人・共同発表、ワークショップ、受付、
会員控室（B253）、大会本部（学生談話室）

附属中央図書館ライブラリーホール：総会、理事会、シンポジウム

大会事務局（連絡先）：古賀豊研究室（総合教育研究棟 F681）

Tel/Fax: 025-262-6462

Email: koga@human.niigata-u.ac.jp

●研究発表論文集（発表予稿集）のオンライン公開について

個人・共同研究発表の研究発表論文集（予稿集）の公開サイトは、以下の通りです。

<http://mass-ronbun.seesaa.net/>

日本マス・コミュニケーション学会のホームページ <http://www.jmscom.org/> からリンクが貼られています。2017 年度春季研究発表会の研究発表論文は 6 月 11 日（日）から上記サイトで公開の予定です。

6月17日(土)

9:00 受付開始(総合教育研究棟B棟会場入り口)

10:00 開会

<午前の部>

10:00～12:00 個人・共同研究発表

A会場(B251)

司会者：土橋臣吾(法政大学)

10:00～10:30 占領期ラジオ番組『質問箱』について

—番組内容とGHQ占領政策の関連性を談話分析から探る—

太田奈名子(東京大学大学院 院生)

10:30～11:00 地域メディアとしての街頭放送

—北海道の街頭放送を事例として—

坂田謙司(立命館大学)

11:00～11:30 日本本土メディアが描いた米軍占領下沖縄

—「NHKアーカイブス」音声資料の分析から—

大城由希江(神戸大学大学院 院生)

11:30～12:00 地方における初期テレビ受容

—青森県下北郡佐井村(1957-1959)を事例に—

太田美奈子(早稲田大学大学院 院生)

B会場(B255)

司会者：本橋春紀(日本民間放送連盟)

10:00～10:30 テレビの災害報道にみる映像と言説の関係性

—福島第一原発1号機爆発報道を事例に—

矢内真理子(同志社大学大学院 院生)

10:30～11:00 日本教育テレビの番組編成における「ワイドショー」の変化

木下浩一(京都大学大学院 院生)

- 11:00～11:30 台湾における朝ドラの受容
—『あまちゃん』視聴者へのインタビュー調査を中心に—
黄馨儀（台湾 中国文化大学）
- 11:30～12:00 子ども向け CM の製品に対する母親の態度について
—日・米・英の比較分析—
藤井達也（武蔵大学社会学部 非常勤講師）

C 会場（B351）

司会者：是永論（立教大学）

- 10:00～10:30 日中国交回復過程における新聞の姿勢について
—佐藤内閣期の朝日新聞と読売新聞における社説を中心に—
陳洋（東洋大学大学院 院生）
- 10:30～11:00 「朝日新聞」と「読売新聞」におけるイデオロギーの違い
—安全保障関連法案を事例に—
孫曉梅（ウィスコンシン大学）
- 11:00～11:30 「個人情報」に関する社会認識の変化に関する研究
金秀那（中央大学大学院 院生）
- 11:30～12:00 食の安全をめぐる政府広報とマスメディアの責任
柄本三代子（東京国際大学）

D 会場（B355）

司会者：辻泉（中央大学）

- 10:00～10:30 雑誌にみる太宰治像（1948年6月から12月まで）
劉宇婷（同志社大学大学院 院生）
- 10:30～11:00 ウェブ上の情報環境とコミュニケーションの変化がもたらすメディア・リテラシー上の諸問題に関する研究
酒井信（文教大学）
- 11:00～11:30 日中戦争期の中国内陸部における日本軍作成の中国語宣伝ビラの研究
劉茜（早稲田大学大学院 院生）
- 11:30～12:00 表現の自由と著作権の衝突—日米比較から得られる示唆—
城所岩生（国際大学グローバルコミュニケーションセンター）

<昼の部>

11:00～12:00 第35期第14回理事会（附属中央図書館会議室／昼食を用意します）

12:10～13:10 総会、会長・開催校挨拶（附属中央図書館ライブラリホール）

第6回内川芳美記念日本マス・コミュニケーション学会賞授与式

13:10～14:10 第36期第1回理事会（附属中央図書館会議室／昼食を用意します）

シンポジウム打ち合わせ（附属中央図書館ライブラリホール

／昼食を用意します）

※一般会員の昼食について

学内の生協第2食堂（席数200）、近隣の飲食店、コンビニをご利用ください。

14:10～14:30 再開総会（附属中央図書館ライブラリホール）

新会長挨拶

<午後の部>

14:40～17:30 シンポジウム1（附属中央図書館ライブラリホール）

トランプ現象とメディアの信頼性をめぐって

—選挙、世論、メディア言説における正当性（正統性）—

司会者：山田健太（専修大学）

問題提起者：清原聖子（明治大学）

前嶋和弘（上智大学）

討論者：平林紀子（埼玉大学）

19:00～21:00 懇親会（開場18:30）

会場：ホテル日航新潟

（大学から会場まで直通の専用貸切バスを用意します）

第2日 6月18日(日)

9:00 受付開始（附属中央図書館ライブラリホール入り口）

9:00～10:00 シンポジウム2打ち合わせ（附属中央図書館ライブラリホール）

<午前の部>

10:00～12:50 シンポジウム2（附属中央図書館ライブラリホール）

新潟のメディア文化

—ローカル・コンテンツの危機と可能性—

司会者：古賀豊（新潟大学）

問題提起者：坂田文彦（「新潟市マンガ・アニメ情報館」館長、「ガタケット」事務局代表）

杉浦幹男（「アーツカウンシル新潟」プログラムディレクター）

原田健一（新潟大学、「にいがた地域映像アーカイブ」主宰）

討論者：公野勉（文京学院大学、映画プロデューサー）

<昼の部>

12:50～14:00 ワークショップ打ち合わせ（各ワークショップ会場／昼食を用意します）

※一般会員の昼食について

- ・学内の食堂が営業していませんので、近隣の飲食店、コンビニをご利用ください。
- ・お弁当を希望される方は、別途記載（Ⅱ．2017年度総会および春季研究発表会参加申し込みのご案内をご参照下さい）の方法で、事前にお申し込みください。

※お弁当受け渡し場所 会員控室（B253）

<午後の部>

14:00～17:00 ワークショップ（終了後、大学から新潟駅まで直通の専用貸切バスを用意します）

ワークショップ1（B254）

若者とメディアの50年—語りの分析からみえてくるもの—

司会者：守弘仁志（熊本学園大学）

問題提起者：小谷敏（大妻女子大学）

（企画：小谷敏会員）

ワークショップ 2 (B256)

オリンピック／戦争の記憶—オリンピックをめぐる語りの変容—

司会者：石川徳幸（日本大学）

問題提起者：浜田幸絵（島根大学）

討論者：山本昭宏（神戸市外国語大学）

（企画：メディア史研究部会）

ワークショップ 3 (B258)

放送番組確定表から探る「上方」放送文化の成立

—JOBKのメディア史研究にむけて—

司会者：後藤美緒（日本大学）

問題提起者：丸山友美（法政大学大学院 院生）

討論者：村上聖一（日本放送協会）

（企画：後藤美緒会員・丸山友美会員）

ワークショップ 4 (B350)

「表象の文脈化」に何ができるか

—韓国公共放送の「8・15」ドキュメンタリーと「歴史認識」の分析から—

司会者：伊藤高史（同志社大学）

問題提起者：崔銀姫（佛教大学）、美馬秀樹（東京大学）

討論者：毛利嘉孝（東京藝術大学）

（企画：メディア倫理法制部会）

ワークショップ 5 (B354)

メディアとしての空間と公共性—建築・インフラ・サイン—

司会者：村田麻里子（関西大学）

問題提起者：谷川竜一（金沢大学新学術創成研究機構）

討論者：宮田雅子（愛知淑徳大学）

（企画：メディア文化研究部会）

ワークショップ 6 (B352)

アニメ・マンガ・ジャーナリズムの接点を考える

司会者：茨木正治（東京情報大学）

問題提起者：永田大輔（筑波大学大学院 院生・学術振興会特別研究員）

（企画：茨木正治会員）

ワークショップ7 (B356)

テレビドキュメンタリーの質を測る物差し—音声の種別分量から—

司会者：伊藤守（早稲田大学）

問題提起者：宮田章（日本放送協会）

討論者：藤田真文（法政大学）

（企画：松山秀明会員）

ワークショップ8 (B358)

臨時災害放送局から考える地域ジャーナリズム

司会者：谷岡理香（東海大学）

問題提起者：大内斎之（新潟大学 博士研究員）

討論者：市村元（関西大学）

（企画：放送研究部会）

ワークショップ9 (B450)

大学のジャーナリズム教育とメディアの現場との接点

—専修大学人文・ジャーナリズム学科のカリキュラム編成と出版現場
の経験から—

司会者：阿部圭介（日本新聞協会）

問題提起者：植村八潮（専修大学）

（企画：ジャーナリズム研究・教育部会）

ワークショップ10 (B453)

“Post-Truth”とジャーナリズム

—「偽ニュース」から現代のネットメディアを考える—

司会者・関谷直也（東京大学）

問題提起者：藤代裕之（法政大学）

討論者：藤村厚夫（スマートニュース株式会社）

（企画：ネットワーク研究部会）

ワークショップ11 (B455)

インターネット社会において再び『マス』を考える

司会者：山口仁（帝京大学）

問題提起者：津田正太郎（法政大学）

（企画：企画委員会）

ワークショップ 12 (B457)

警察取材記者の過重労働と市民の知る権利

司 会 者：山際永三（日本映画監督協会）

問題提起者：浅野健一（同志社大学 [学校法人同志社と地位確認係争中]）

（企画：浅野健一会員）

3. 会場案内

新潟大学五十嵐キャンパス交通アクセス

- 電車をご利用の場合

JR新潟駅 → 電車 20 分 → JR新潟大学前駅 → 徒歩 15 分 → 五十嵐キャンパス
「JR新潟駅」から、越後線「吉田・柏崎方面」に乗車 → 「新潟大学前駅」下車

- バスをご利用の場合

JR新潟駅 → バス 45 分 → 新潟大学正門 → 徒歩 1 分 → 五十嵐キャンパス
「JR新潟駅」万代口 バスターミナル乗場 5 番線より、西小針線「新潟大学・内野営業所」行き (W21) に乗車 → 「新大正門」下車

※ 途中に、「新大入口」、「新大国道口」というバス停がありますが、これらで下車すると、15 分ほど歩くこととなりますので、ご注意ください。

なお、このバス路線は、ホテル・飲食店等の多い新潟市中心部の「万代」や「古町」といった地域を経由します。

- タクシーをご利用の場合

JR新潟駅 → タクシー 30 分 → 五十嵐キャンパス

※ 行き先として、「新潟大学」とだけ告げると、「新潟大学附属病院（旭町キャンパス）」に連れて行かれる可能性がありますので、「新潟大学五十嵐キャンパス」とお告げください。

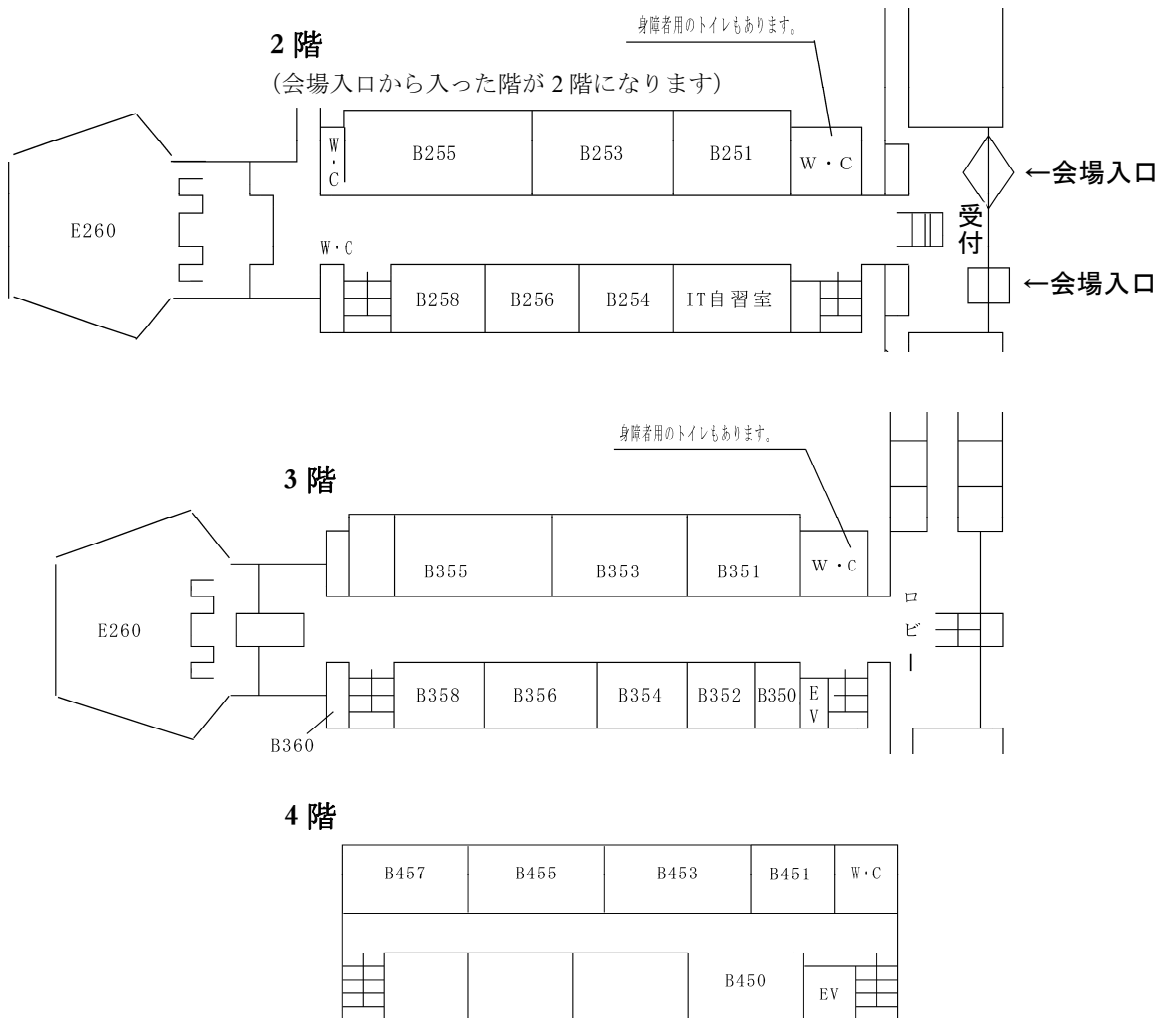
下記の WEB ページも、ご参照ください。

- 新潟大学五十嵐キャンパス・交通アクセス
<http://www.niigata-u.ac.jp/university/access/ikarashi/>
- 新潟大学五十嵐キャンパス・キャンパスマップ
<http://www.niigata-u.ac.jp/university/map/ikarashi/>

新潟大学五十嵐キャンパス案内図（一部抜粋）



会場案内図1（総合教育研究棟B棟）



会場案内図 2 (新潟大学附属中央図書館ライブラリーホール)

